

Brown Bag Seminar



ブラウンバッグセミナー

録画期間限定公開
オンライン(Zoom)

2021.12.8

(水)

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

登録はこちら

日 ← 同時通訳 → 英

12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_wtRXn_RLRNeiUA40sqyRuw

魚養殖の向上 - 唐津Qサバの完全養殖の事例 -

司会: **Scott Valentine 教授** (Q-AOS 研究推進ディレクター)

食物と栄養は生命にとって不可欠であり、健康的な栄養素が豊富に含まれている魚は、人間の食物の主要な供給源として認識されています。増大する需要に応えるために、魚は長年捕獲または養殖されており、直接的または間接的に環境、魚資源、および人命を危険にさらしています。さらに、高齢化、労働力の減少、および多くの社会経済的問題が、日本の養殖の持続可能性を脅かしています。そのため、九州大学の私たちの研究グループは、さまざまな民間および政府関係者と協力し、健康的な食用魚の生産効率を高めるためにハイエンドの水産養殖製品を開発しました。今回のブラウンバッグセミナーでは、マサバ（唐津 Q サバとして普及している）のメリットと、日本の食品市場における将来の可能性についてお話しします。



チャクラボーティ・タパス 助教
九州大学大学院 農学研究院

チャクラボーティ・タパス先生は、九州大学農学研究院資源生物科学部門の助教です。チャクラボーティ先生は生殖内分泌学のバックグラウンドを持ち、以前は愛媛大学で助教を務めていました。それ以前は、愛媛大学と基礎生物学研究所(NIBB、愛知県)でポスドクを務めていました。日印協力の一環として、文部科学省の奨学金を受けて、2010年に NIBBで博士号を取得しました。タパス先生の研究対象は、基礎および応用的な魚の生理学、幹細胞生物学です。魚の繁殖維持のための解決策と水産養殖のためのデバイスの未来的な解決策を見つけることに焦点を当てています。さらにタパス先生は、広範囲にわたり研究発表をしており、中国、ブラジル、インドを含む国内外の様々な研究者と積極的に共同研究を行っています。

Key Words

唐津 Q サバ

魚

養殖

